

成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)



平成28年度予算額 7億円(平成27年度予算額 4億円)

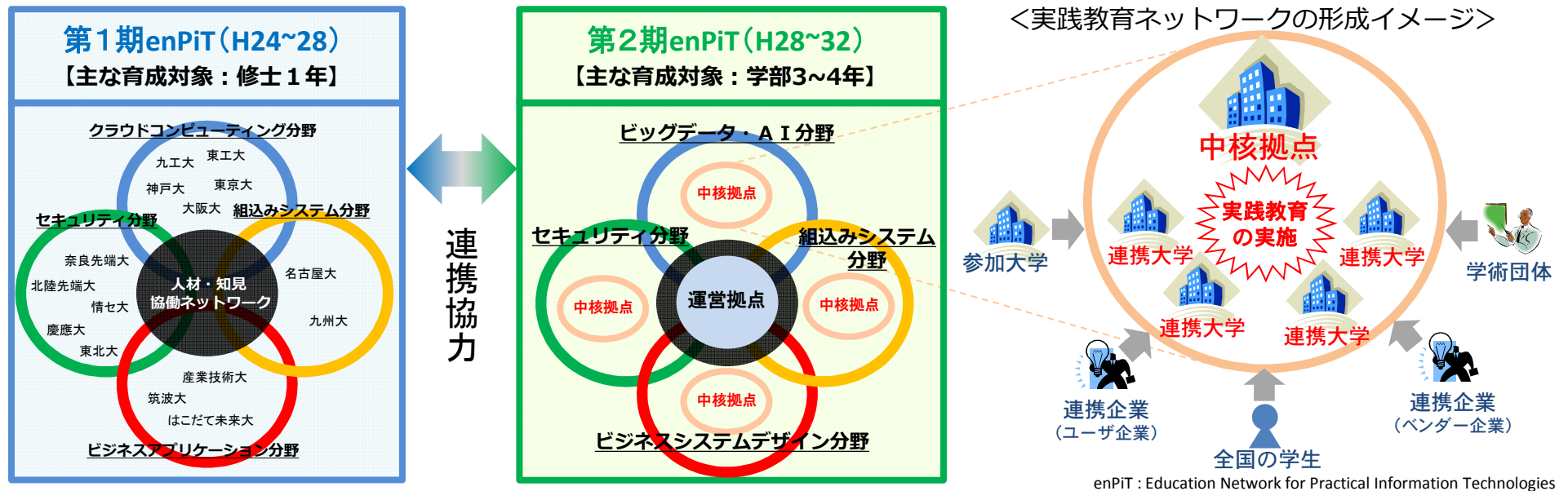
【背景・課題】

- 情報技術を高度に活用して、社会の具体的な課題を解決することのできる人材の育成は我が国の極めて重要な課題
 - 高等教育機関においては、**実践力の強化** が求められている
- ⇒ **課題解決型学習(PBL)等の実践的な教育の推進**により、情報技術人材の育成機能を強化する必要

【平成28年度の事業概要】

- 平成24年度選定分の継続支援**… 情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業において、平成24年度から支援をしてきた大阪大学を中心とする従来のenPiTの取組(大学院修士1年生向け)の最終年度(5年目)を支援【第1期enPiT(H24~28)】
- 平成28年度選定分の支援(新規)**… 4分野において、**学部3~4年生**を主な対象とした実践的な教育を推進する。
1 運営拠点・4 中核拠点を採択し、平成28年度からの取組の1年目として支援【第2期enPiT(H28~32)】

- ✓ **大学院修士学生向けの実践教育の普及・自立化を促し、学部生に対する取組を新たに開始する**
- ✓ **人材育成の中心的役割を担う「中核拠点」、中核拠点間の総合調整・ネットワーク形成の要を担う「運営拠点」の設置**
(運営拠点を中心とした中核拠点・連携大学・企業等とのネットワークをトップダウンで形成し、より強固な連携を目指す)



【期待される効果】

- 継続性をもって人材育成を行う環境(実践教育ネットワーク)の構築による人材育成機能の強化
- 情報技術を高度に活用して社会的課題を解決することのできる人材の創出